

## ～ 理事長だより ～ Vol.2

先日、三島市立錦田中学校、山田中学校、北上中学校にお邪魔しました。

9月、11月に、三島市長寿政策課、三島市医師会の協力のもと、三島市内3つの中学校に訪問し、中学生向けの地域医療講座の中で、命に関わる講義（乳がんに関わる講義）を行いました。驚いたことに、今の中学生は、実直で、熱心に講義を聞いてくれていました。いくつか嬉しい感想がありました



### 乳癌死低下に向けて ～がん教育～



いのち ってなんですか？	
広辞苑によると	
	<b>1、生物の生きていく原動力。生命力。</b>
	2、寿命
	3、一生。生涯。
	4、もっとも大切なもの
	<b>皆さん、考えたことがありますか？</b>

**NPO法人の活動として、遅時きながら、いのちの授業を開始しました。**

「がんにならないようにするためやがんを早期発見するためにどうすればいいかなどを教えていただきとてもためになったなと思います。なので、今日聞いた話をこれからの人生で活かせたらいいなと思います。」

「やっぱり普段から生活習慣などに気をつけて生活することが大事なんだなと思いました。今まではこういう授業は少ししかなくて、あまり理解できていなかったけどこの講座を聞いて知識が深まったと思います。」

「命が終わる最後の瞬間まで自分らしく生きる。ということの最大の敵は他でもない病気(特にがん)だと思うので、悔いの残らないように生活したり、対策できることがあれば、早いうちからやるようにしたい。」

お子さんのいる、お母さん、お父さん、お子さんたちも、がんに対して伝えれば理解できるものです。みんなが悲しまない、苦しめない人生を送れるようにしましょう。

乳がんは、早期に見つければ、多くは治る病気です。怖がらず、あれっと思ったら、まずは、我々に相談してください。

NPO 法人 ふじのくに乳がん交流サロン

理事長

西村 誠一郎

